学校番号	２１５

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「古典Ｂ」改訂版　（大修館書店）						
副教材等	カラー版　新国語便覧　　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年生の古典では、一年生で学習した古文・漢文の基礎的な力を確実に身につけ、自分で古典作品を読み解く足がかりをつくりましょう。また、各時代の人々のものの見方、感じ方を学び、古典についての関心を深めることによって、今を生きる自分の人生を豊かにできるように日々努力しましょう。
・予習として、便覧で作品や作者について調べておきましょう。
・授業では集中し、やるべきことはその時間内に必ず完成させるように心掛け、感じたこと、疑問に思ったことや説明、大事だと思うことなどをメモする習慣をつけましょう。
・授業後は、語句の読み方や意味、現代語訳、作品の背景などを復習しましょう。

２　学習の到達目標

・古文・漢文の基礎的知識を身につけさせ、古典を読解する能力を育成する。
・ものの見方や感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 定期考査			授業での行動観察 指名音読 暗唱テスト 発問評価	授業での行動観察 記述の確認（ノート・プリント） 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文に親しむ　説話（古文）	「今昔物語集」「陰陽師」 ・古文に親しみを持ち、話の面白さを理解する。 ・文章を読み比べて、その違いを認識する。	○			○	○	a『今昔物語集』と小説『陰陽師』をそれぞれ音読し、おもしろさを味わっている。 d『今昔物語集』と小説『陰陽師』を読み比べながら、登場人物とその関係を読み取っている。 e. 歴史歴仮名遣いや古語について復習し、適切に現代語訳している。	授業での行動観察 指名音読 発問評価 記述の確認 定期考査
	古文に親しむ　説話（古文）	竹取物語 ・登場人物の言動を通して、古人のものの見方や考え方をとらえる。 ・係り結びの用法や敬語の表現などに注意して、文章の内容や人間関係などを正確に読み取る。	○			○	○	a 古人のものの見方や考え方をとらえようとしている。 d 登場人物の言動を通して、当時の人が天上界や人間界をどのように考えていたかを読み取っている。 e 係り結びの用法や敬語の表現などを理解している。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査
	動物の寓話　故事成語（漢文）	「動物の寓話－故事成語」 ・比較的短い文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・故事や寓話にこめられた古代中国のものの見方・考え方を味わう。 ・訓点や句形について理解する。 ・故事成語の由来を正確に理解し、現代における故事成語の使い方を習得する。	○				○	a . 漢文に対して、理解しようとする気持ちを持っている。故事成語について興味・関心を持つ。 e . 訓点や句形について理解して、訓読することができ、現代語訳することができる。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査

2学期	笑いと思索 随筆(古文)	「徒然草」「方丈記」 ・随筆を読んで、人間・社会・などに対する作者の見方、考え方を読み、理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。				○	○	d 作者のものの見方や感じ方、中世の無常観を的確に読みとっている。 e 文章の構成や表現上の特色を理解している。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート） 指名音読 定期考査
	英雄の物語『史記』(漢文)	『史記』「鴻門の会」 ・漢文を読んで、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・様々な句形について理解し、それに即して口語訳をする。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。	○			○	○	a. 実在する登場人物の行動・生き方を通して、歴史の面白さを味わっている。 d. できごとと登場人物の心情、沛公が脱出できた理由を読み取っている。 e 歴史書の模範とされた『史記』の特徴を理解している。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査
	叙情のしらべ 漢詩(漢文)	「中国の漢詩」 ・漢詩のさまざまな描写に接し、内容を的確に捉える。 ・詩に表現された作者の心情を、作者の境遇と合わせて理解する。 ・詩形・押韻・構成・対句について理解する。 ・訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。				○	○	d. 訓点に従って、正しく読めている。 e. 押韻や対句について理解し、そこにこめられた作者の心情を読み取れている。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査

学期	いくさと人間　軍記物語（古文）	『平家物語』 ・軍記物語らしい表現を味わいながら音読し、この戦いの推移を読み取る。 ・風景描写、登場人物の行動や心情を読み取り、味わう。 『平家物語』の文学史的位置付けを理解している。	○			○	○	a 登場人物の行動・生き方を通して、人間の生き方について考えようとしている。 d 古文の調子を味わいながら朗読し、風景描写、登場人物の行動と心情を読み取っている。 e.『平家物語』の成立経緯や特徴、文学史上の位置づけを理解している。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。